

(公財)石川県産業創出支援機構  
理事長 殿

[留意点]  
正本のみ押印必要

住 所：〇〇市〇〇〇-〇-〇〇  
商号・名称：株式会社〇〇〇  
代表者役職：代表取締役社長  
氏 名： 〇〇 〇〇 印

2022年度

いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド（石川県単独型）事業助成金 事業計画書

事業区分 3	
中小企業等による産業化資源活用 新商品・新サービス開発に係る事前調査支援	
<p>※申請する取組みに☐をして下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 中小企業者・組合等：（500千円）</p> <p><input type="checkbox"/> 4者以上のグループ：（1,000千円）</p> <p>・助 成 率：助成対象経費に対し<b>定額助成（10/10）</b></p> <p>・事業実施期間：交付決定日より<b>1年以内</b></p>	

▼添付資料 ※提出する資料に☐をして下さい。

No.	関係書類	備考
<input type="checkbox"/> 1	事業計画書 10部 (必須)	①正本1部（カラー片面印刷） ②副本9部（カラー両面印刷） ※電子申請をする場合は、①正本（カラー片面印刷）は不要。
<input type="checkbox"/> 2	直近2年分の決算書 の写し ※個人事業主の方は 確定申告書及び申告決算書の写し 各1部 (必須)	▼法人の場合 ①「損益計算書」、②「貸借対照表」③「株主資本変動計算書」  ▼個人事業主の場合 ①「確定申告書の第一表、第二表」 ②「所得税申告決算書（損益計算書から貸借対照表※）」 ※貸借対照表は、作成している場合のみ提出してください。  ※4者以上のグループ申請の場合は、構成員全ての決算書及び申告書等を添付してください。
<input type="checkbox"/> 3	法人税申告書 別表二 同族会社の判定に関する明細書の写し 1部	法人の方のみ (必須)
<input type="checkbox"/> 4	同意書 1部	4社以上のグループ申請の場合 (必須)
<input type="checkbox"/> 5	経営革新計画書の認定書 写し 1部	該当する場合のみ提出

(注) 本様式は、日本工業規格A4判とすること。

1. 申請者情報

<p>(1) 申請事業区分 ※申請する取組みに☑をして下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 中小企業者・組合等：（500千円）</p> <p><input type="checkbox"/> 4者以上のグループ：（1,000千円）</p> <p>・助成率：助成対象経費に対し<b>定額助成（10／10）</b></p> <p>・事業実施期間：交付決定日より<b>1年以内</b></p>			
<p>(2) 申請者（4者以上のグループ申請の場合は、代表申請者）</p> <p>フリガナ：（カ）○○○○</p> <p>事業者名：（株）○○○○</p> <p>代表者役職・氏名：代表取締役 ○○○○</p> <p>住所：〒○○○-○○○○ ○○市○○○-○-○○</p> <p>電話番号：○○○-○○○-○○○○ FAX番号：○○○-○○○-○○○○</p> <p>メールアドレス：○○○@○○○○</p>			
<b>資本金（出資金）</b>	10,000千円	<b>従業員数</b>	18人
<b>主たる業種</b>	製造業（衣料用繊維）	<b>設立日</b>	西暦○○年○○月○○日
<p>(3) 連絡担当者（申請者と連絡担当者が異なる場合のみ記載）</p> <p>事業者名：○○○（申請者と同様の場合は記載不要）</p> <p>役職・氏名：総務課長 ○○○○</p> <p>住所：〒○○○-○○○○ ○○市○○○-○-○○</p> <p>電話番号：○○○-○○○-○○○○ FAX番号：○○○-○○○-○○○○</p> <p>メールアドレス：○○○@○○○○</p>			
<p>(4) 事業計画名・・・30文字程度で記載ください。</p> <p>※例）石川県の伝統工芸●●●●を活用した×××の開発に関する事前調査事業</p>			
<p>(5) 活用する産業化資源名</p> <p>※例）加賀友禅、ルビーロマン、能登牛、輪島塗、IT製品と関連技術</p> <p>※産業化資源とは、石川県で生産・製造された農林水産物・鉱工業品（当該鉱工業品の生産に係る技術を含む）、石川県独自の観光資源・技術等を指します。※公募要領の「石川県地域産業資源一覧」を参考に記載ください。</p>			
<p>(6) 事業内容・・・最大100文字程度で記載ください。</p> <p>※補助事業の内容を簡潔にまとめてください。</p> <p>伝統工芸の○○技術と当社の企画・デザインノウハウを融合させ、近年需要が急増している○○×に対応するため「×××」を開発する。開発前のマーケット調査、製造に必要な技術調査を行う。</p>			
<b>(7) 事業実施予定期間</b>	西暦2022年 9月 1日 ～ 西暦2023年 8月31日	<b>(8) 助成金申請額</b>	1,000千円

(9) 役員一覧（監査役を含む）

役職名	氏名	フリガナ	生年月日			会社名 ※他社と兼務の場合
			年	月	日	
代表取締役	石子 太郎	イシコ タロウ	1968	6	20	A社 【 】
専務取締役	石子 花子	イシコ ハナコ	1970	3	30	【 】
取締役	石子 次郎	イシコ ジロウ	1997	11	10	【 】
						【 】

※兼務する他社が大企業の場合、【 】に○を付してください

(10) 株主等一覧表

※出資比率の高いものから記載し、大企業は○を記載してください。

出資者が個人の場合は、大企業欄は選択しないでください。6番目以降は、「ほか○人」と入力してください。

(20 年 月 日現在)

主な株主 又は出資者	株主名 又は出資者名		所在地	大企業	出資比率 (%)
	①	石子 太郎	金沢市〇〇番××	【 】	50%
②	石子 花子	金沢市〇〇番××	【 】	25%	
③	石子 次郎	金沢市〇〇番××	【 】	25%	
④			【 】	%	
⑤			【 】	%	
⑥	ほか	人		%	

(11) 4者以上のグループ構成員（1者で申請する場合は記載不要）

No.	企業名等	代表者名	住所	資本金 (千円)	従業員 (人)	業種	役割
1	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇市 〇〇町〇〇番	3,000千円	5人	衣料品販売業	モニター調査等
2				千円	人		
3				千円	人		
4				千円	人		

### 【事業計画書を作成する際の留意点】

- ① 文章内で使用する文字の「種類」・「色」・「大きさ」・「下線」・「見出し」等、分かりやすい様に自由に表現して頂いて構いません。
- ② 事業内容の説明に必要な情報はすべて、事業計画書内で記載すること。  
画像・グラフ・図表などの「別紙、別添資料」は認められません。（審査の対象外になります）
- ③ **事業計画書は、『（１）事業内容』～『（３）本事業の計画と実施体制について』の終わりまでで、『10 ページ』分程度としてください。**

※本留意点は、申請書提出時に削除してください。

※下記事業区分の申請書記載事例です。

※公募要領、事業区分の目的、対象事業を熟読の上、本記載事例を参考に申請書を作成してください。

※申請書作成の際には削除してください。

事業区分 <3>	中小企業等による産業化資源活用 新商品・新サービス開発に係る事前調査支援
目的	産業化資源を活用した新商品・新サービスの開発・販路開拓を目指して実施する市場調査や技術的課題等の整理、課題解決に向けた具体的方策の検討等に係る取組を支援することで、商品化と市場投入後の販路開拓を着実に進めていくための実効性の高い事業計画の策定に繋げ、産業化資源を活用した新たなビジネスの創出を図ることを目的としています。
対象事業	産業化資源を活用した新商品・新サービスの開発に取り組む前に実施する市場調査やマーケティング分析、商品化に係る技術的問題点や販路開拓に係る課題等の抽出・整理、これらの課題解決に向けた具体的方策の検討、並びに、これらに必要となる小規模な試作・開発を行う事業。

## 2. 事業内容

### (1) 企業概要

#### ① 当社の説明

自社のこれまでの歩み（沿革）、企業理念、事業（業務）内容・商材、主要顧客などを簡潔に説明して下さい。  
どんな企業（風土・理念）で、「誰に」対して、「何を」、「どのよう」に提供する事業を営んでいるのか。

※例) ▼

当社は〇〇市〇〇で△△製造業を営んでいる。

主に××業界の〇〇の製造・卸売が主要な事業である。（創業 19XX 年、創業×〇年）。

創業時から大手衣料品メーカー A 社の代理店を中心に行っており売上の約 9 割を占めていたが、近年では設計・デザインを内製化し、「機能性」と「意匠」を兼ね備えた自社商品の企画提案が可能となった。

現状の自社製品のイメージ  
売上比率のグラフ、自社の商流など  
自社を説明するために  
効果的な画像等があれば  
添付しても良い。

現状の売上比率は、卸売 7 割、自社商品 3 割となっている。・・・  
現在、自社商品として販売しているのは、左図を参照。  
〇〇〇というコンセプトのもと、●●をターゲットに、〇〇で販売している。  
口コミで着実に固定客が増加しており・・・。

**②内部環境要因**・・・自社の強み、弱み（人財、設備、ノウハウ、情報等）の説明。

内部環境要因は、『自社である程度コントロールできる内面の事』です。自社のこれまでの行動や努力の結果である現在の姿、今後改善できる事柄を言います。

本事業の必要性を効果的に説明できる事柄・背景を考えて記載してください。

※必ずしも全ての項目（強み・弱み・機会・脅威）を網羅する必要はありません。

<強み>

- (1) 広い取引先ネットワークから、顧客ニーズを得られる  
・詳細説明・・・
- (2) 設計・デザイン部門があり、柔軟な商品設計対応が可能  
・詳細説明・・・
- (3) 信頼のおける外注先ネットワークがある  
・詳細説明・・・

<弱み>

- (1) 代理店卸売りが中心であり、利幅が薄い  
・詳細説明・・・
- (2) 直販の経験が浅く、販売促進ができていない  
・詳細説明・・・

**③外部環境要因**・・・（機会・脅威）の説明。

外部環境要因は、『自社ではコントロール不可能な外面の事』です。市場動向、経済環境、生活スタイルの変化など、自社にとってプラスの要因（機会）とマイナスの要因（脅威）に分けられます。

本事業の必要性を効果的に説明できる事柄・背景を考えて記載してください。

※必ずしも全ての項目（強み・弱み・機会・脅威）を網羅する必要はありません。

<機会>

- ・新型コロナによる生活スタイルの変化により、在宅勤務を行う会社が多くなっている。
- ・WEB会議システムの利用が増えるなか、普段着のようなスーツの需要が伸びてきている。

当社が取引先から得たニーズから企画設計した「××商品」の売れ行きが好調であり、既存ユーザーから新デザインの要望が多く来ている。・・・コロナの収束が見えないため、今後もこの状態は続くと考えられる。

<脅威>

- ・大手衣料品販売店が、当社の開発した商品と同一コンセプトの商品を市場に導入してきている。
- ・コロナの収束が見えず、衣料品業界の売上減少が懸念される。

**④自社の経営課題を説明**

⇒①～③から導き出される「現状の自社の経営課題」を説明してください。

※例) ▼

当社の経営課題は以下の2点である。

- (1) 大手衣料品メーカーと差別化を図れる新商品の開発が必要であること。
- (2) 粗利の大きい直販比率を高めるための自社ブランドの確立、販路開拓が必要であること。

この2点を解決するために、本事業を実施する。

※グループ申請の場合は、上記項目に併せて、「グループで申請に至った経緯」を説明して下さい。

**(2) 事業内容（申請する助成対象事業について）**・・・**(2) 事業内容が審査で特に重要なポイントになります。**  
 ※対象となる事業の制約があります。詳しくは、公募要領の「対象事業」を参照ください。  
 ※本手引きの冒頭にも記載しております。

**①開発する新商品・新サービスの概要**

※現時点で想定している新商品・新サービスの完成イメージを説明。  
 ⇒どのような商材（新商品・サービス）を、誰（ターゲット・市場）に、どのように提供するのかを説明。  
 ※事前調査であるが、ある程度の完成品イメージを具体的に記載すること。  
 ※調査前の仮説でも良い。

具体的なイメージ  
写真や図があれば  
好ましい。

※無くても  
審査には影響しません。

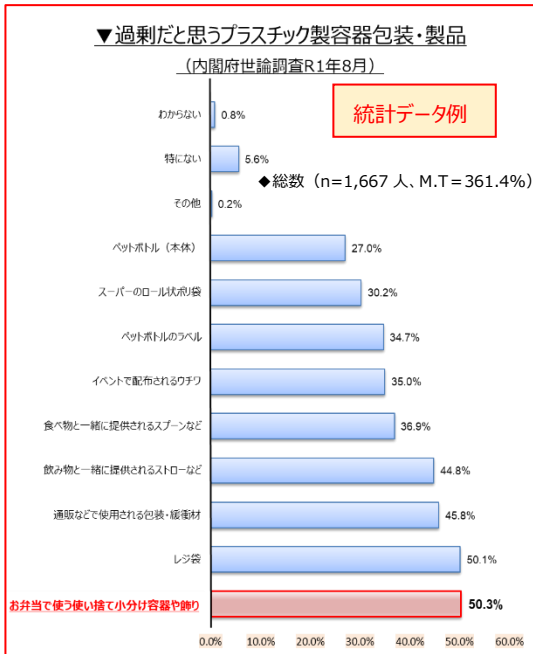
※例) ▼  
 製品名：××◎商品

- ・特徴、既存商品や市場に出回っている競合品、代替品との違い。
  - ・どのような顧客をターゲットとしているか。
  - ・どのようなノウハウ、素材などを活用しているか。
- ※簡単に説明し、詳細を以後の段落で説明してください。

**②ターゲット市場と顧客に対する価値**

※ターゲット市場（具体的な取引先・顧客）を想定した『根拠』を記載。  
 ⇒客観的な統計データ、顧客動向、日々の事業活動から得られる情報などがあれば記載。  
 ※新商品・新サービスが『ターゲット顧客にもたらす価値』を記載。

▼統計データなどから、ターゲット市場を選定した理由を記載。



※例) 紙器製造業の場合

左図は、世論調査として「過剰だと思うプラスチック製容器包装・製品」について調査したものである。

プラスチック製の「お弁当で使う使い捨て小分け容器や飾り」が過剰であると考えている人が半数を占めていることが分かる。

脱プラスチックへの対応として、大手飲食チェーンでは、プラスチック製のストローを紙製へ切替を図る動きが近年活発である。

しかし、未だにお弁当の容器自体、小分け・量り売り惣菜の容器、バラなど飾りは、プラスチック製が大半を占めている。

本事業では、  
**コロナ過でテイクアウトを始めた飲食店**  
**(特に弁当などの容器を必要とする店)をメインターゲット**  
 に和紙を活用した「紙のみの弁当容器・飾り仕切り」を開発する。

**③競合他社・商品との差別化要素**

※調査段階で、ある程度具体的な完成品イメージがあり、競合が想定される場合には記載。  
 ※本事業の商材が、競合（代替）商材とどのような新規性・独自性で異なるかを記載。  
 ※競合（代替）商材に対し十分な差別化要素があり、優位性を持つことを記載。  
 ※競合（代替）商材との表での比較。  
 ※ポジショニングマップでの競争地位の比較。

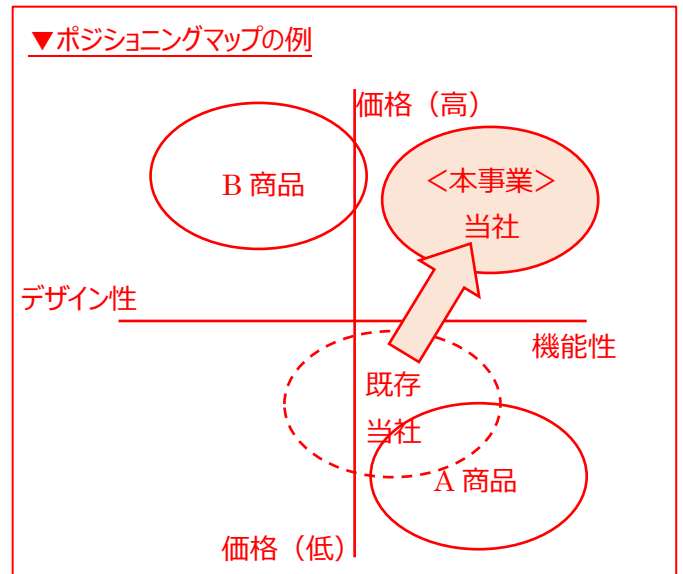
▼競合商品との比較表の例			
比較項目	当社	競合他社 (代替品A)	競合他社 (代替品B)
イメージ	※イメージ画像	※イメージ画像	※イメージ画像
素材	天然●● ※廃棄されていた資源を活用	化繊	天然
価格	9,000円程度	3,000円程度	10,000円程度
使用シーン	○△をする時に使用することも想定	○○をする時に使用	○○をする時に使用
顧客属性	比較的富裕層 ノーブランドでも エシカル思考 健康志向	大衆 使えれば良い と考えている層	富裕層 素材にこだわりを持つ ブランド志向

※競合との差別化要素、競争地位の違いなどを説明した上で、なぜ新製品を開発する必要があるのかを説明。

※新規性、独自性が分かるように記載することを心掛けてください。  
⇒新商品・新サービスの「強み」は何でしょうか？

※新製品を開発・販売することで、当社の競争地位はどう変わってくるのでしょうか？

ポジショニングマップで他社（者）との差別化を説明し、戦略的に必要であるから、新商品開発を行うことを記載するように心がけてください。



#### ④地域経済への波及効果

※本事業が地域経済へ与える効果を記載。

※例) 調査が完了し、製品化されれば、県内の○○伝統工芸の作家を育て、技術の発展に寄与する等。

#### ⑤チャレンジする内容・・・審査で特に重要なポイントとなります。

※本事業の調査に対する、現時点で想定される課題と対応策を説明。

※本事業でチャレンジしていく内容（技術的課題、組織的課題、販売等に対する対応策）などを記載。

⇒調査の場合、商品開発面、販路開拓面など、何に対して、どのような調査を行うかを具体的に記載する事。

※現段階で、考えている仮説がある場合には、仮説と検証方法を具体的に記載すること。

##### (1) 商品開発面で調査すべき課題・調査内容

- の機能性向上に関する調査  
具体的な調査方法・・・
- ×××の類似・競合品との差別化を図るための市場調査  
具体的な調査方法・・・

##### (2) 販路開拓面で調査すべき課題・調査内容

- 流通経路、最適な物流経路、保管方法、等の選定に関する調査  
具体的な調査方法・・・
- 業界の専門知識を持った代理店を発掘するための調査  
具体的な調査方法・・・



(3) 本事業の実施計画と体制について・・・事業の実現可能性を審査します。

①事業実施計画（例）・・・下表は例です。計画の全体象が分かれば、自由に記載頂いて構いません。

No.	実施内容	採択年度					1年目							
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	体制整備（社内外の調整）													
2	市場ニーズ調査（百貨店等）													
3	製造課題の解決策検討・技術調査													
4	簡単な試作品を作成													
5	試作品のモニター調査													

※例）・・・上記の事業目標と共に簡単な計画内容を説明する。

採択年度は、社内外の関係者と調整を行い、マーケティング調査会社〇〇社と共に、全国の手百貨店でのニーズ調査を実施する。現在考えている製品サンプルを3点用意し、どれが好まれ、改良をするポイントを調査する計画。

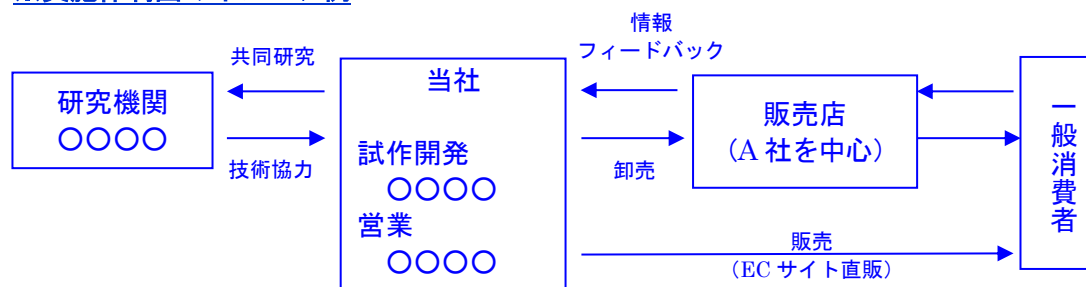
1年目は、懸念されている製造工程の課題の解決策を調査する。外部協力先の〇〇と共に素材の選定から開始、特に●●の加工に懸念があるため、専門家の意見を参考に技術調査に注力する。  
技術的課題が解決できれば、試作品を作成し、モニター調査を実施する計画である。

②事業実施体制

※どのような体制で事業を実施するのかを、社内、利害関係者を含め簡潔に説明して下さい。

※自社以外との関係・商流が分かるように、下記のイメージ図を参考にして下さい。

※実施体制図のイメージ例





**(4) 補助金の交付を受けた実績及び当該年度の他の助成金への申請状況（予定含む）**

※下記記入例を参考に記載してください

- ①過去2年以内に公的機関等から受けた『補助金・助成金』・『認定』等。
- ②現在申請中の『補助金・助成金』・『認定』等
- ③「県税等の納税状況」の記入例に基づき、漏れなく記載

※記載例

**＜1. 過去に採択された補助金・助成金＞**

- ①【補助金名】令和元年度「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」  
【事業計画名】●●加工機導入による新型■■の開発・生産性向上事業  
【採択年月】令和元年10月
- ②【補助金名】令和2年度いしかわ里山振興ファンド  
【事業計画名】能登の里山にある未利用資源●●を活用した■■の開発・販売事業  
【採択年月】令和2年12月

**＜2. その他認定等＞**

- ①【認定制度名】経営革新計画承認制度  
【認定計画名】●●商品の積極的な販売展開による提案型企業改善  
【認定年月】令和2年4月

**＜3. 現在申請中の補助金・助成金・その他認定等＞**

なし

**＜4. 県税等の納税状況（該当する箇所には☑）＞**

滞納なし     滞納あり（詳細：                                  ）

**(5) 事業の実施場所**

※事業を実施する場所を記載して下さい。

※例)

試作開発：○○○○（〇〇市〇〇町〇ー〇）

販売：○○○○（〇〇市〇〇町〇ー〇）

### 3. 経費明細表

#### (1) 助成事業に要する経費

<助成限度額：50万円の場合>の例

(単位：円)

	助成事業に要する経費 (税込) A	助成対象経費 (税抜) B ※A÷1.1 (1円未満切捨て)	助成金 (B×助成率) C ※B×助成率 (千円未満切捨て)
2023年度 (採択日～年度末)	330,000	300,000	300,000
2024年度	220,000	200,000	200,000
合 計	550,000	500,000	500,000

#### (2) 経費区分表

助成事業期間中に支出予定の**全ての助成対象経費**を記載ください。

(単位：円)

経費区分	経費内訳	助成事業に 要する経費 (税込) A	助成対象経費 (税抜) B ※A÷1.1 (1円未満切捨て)	助成金 (B×助成率) C ※B×助成率 (千円未満切捨て)	支払い先 (現在の予定先のみで良い)
謝金	専門家謝金	110,000	100,000	100,000	石川太郎
	経費内訳の科目は、公募要領の『経費区分、助成対象経費一覧表』を参照。				
	小 計	110,000	100,000	100,000	
旅費	職員旅費	220,000	200,000	200,000	JR西日本 他
	小 計	220,000	200,000	200,000	
事業費	会場借料	110,000	100,000	100,000	東京ビッグサイト 他
	調査研究費	110,000	100,000	100,000	金沢リサーチ(株)
	小 計	220,000	200,000	200,000	
合 計		550,000	500,000	500,000	

#### (3) 資金調達内訳

(単位：円)

区分	金額	資金の調達先		
助成金	500,000	ISICO	上記表の(C) 合計金額を記載	
(助成金内訳)	自己資金	250,000	助成金に対する資金の調達内訳を記載。 ※助成金が精算されるまでの間、 どこから必要資金を調達するのかを記載。	
	借入金	250,000		●●銀行
	その他	0		親族
自己資金	50,000		(A)の合計額－(C)の合計額を記載 ※事業費の内、助成金額以上の必要資金を どこから調達するのかを記載。	
借入金	0			
その他	0			
合 計	550,000		上記表の(A) 合計金額を記載	